

三郷市議会議員

斉藤みきお



が取り組んだ活動レポート

子どもたちの未来を創る教育改革

■多様な悩みを抱える小中学生及び保護者の相談に応えるために行っている、教育相談室・適応指導教室の現状と課題について一般質問を行いました。不登校に悩む保護者のための講演会には自身も参加し多くの学びを得ることができました。

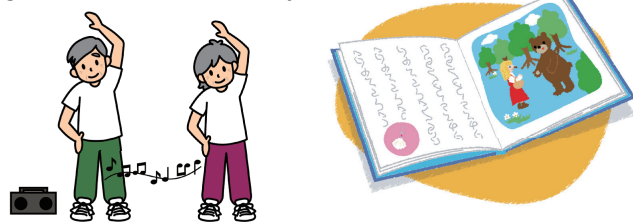
■また「日本一の読書のまち三郷」を支える、次世代の読書リーダーを養成するために行っている、子ども司書養成講座の現状と課題についても一般質問を行いました。

■さらに、家庭教育について保護者同士が悩みを共有したり、解決のヒントを話し合いの中から見出すことを目的とした、「親の学習」講座の現状と課題について一般質問を行い、父親限定の講座には自身も参加し見識を深めました。

住んでいるだけの地域への無関心層が拡大

■学校で行われているラジオ体操の代わりに、三郷市民の歌が使われている「すこやかみさと健康体操」を行うことを提案。歌と体操での多世代交流が可能になり、地域への誇りや愛着、地域社会へ貢献する意識が育成されることが期待されます。

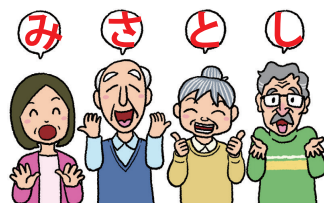
■地域在住のプロ紙芝居師の「てるさん」と協力し、「てるさん」が出版した絵本を使い、小学校の学校公開で命の授業を開催し、たくさんの方々から好評を得ることができました。



少子化が進み介護・医療の問題山積

■ひとり暮らしの高齢者や障害のある方に対して行っている、救急医療情報キット配布事業の現状と課題について一般質問を行いました。

■高齢者の生きがいづくり・健康維持を目的として開催しているシルバー元気塾と医療費の関係について一般質問を行いながら、シルバー元気塾特別講座や埼玉県人権を考えるつどいでの出張講座には自身も参加し、多くの高齢者と意見交換。ご要望も含めて日頃の政務活動で解決すべき課題となりました。



地震・豪雨などへの自然災害対応

■三郷市は一級河川や大小の水路を有する自治体で、水害に対する危機管理にも最大限に配慮していなければなりません。令和5年の台風2号による大雨の後、地下に埋設されているものも含め、雨水流水路の稼働力を低下させないように、水路に落ち葉や土砂が流れ込み詰まっていないかの状況調査を行政に依頼しました。

■当選前から校長先生に働きかけていた、避難所開設運営委員会が8年ぶりに開かれ、自身も参加しました。地域避難所は発災時に開設され、地域の運営委員とボランティアによって三郷市と連携しながら機能させるものです。皆さんが安心・安全への意識を高めていただければ地域的対災害力も上がってまいります。

前回の市議選で掲げた6つのテーマを再検証！



2021年の市議選の際に、当選後取り組むテーマとして掲げた6つの課題。この4年間で私がどう取り組んできたかをご報告させていただきます。

都市基盤（道路・水路等）の見直しと再整備

■お隣の八潮市で発生した道路陥没事故。安否不明者、避難生活者を生むなど、どこにでも起こりうる事故という警鐘も鳴りました。私は当選後の市議会において、三郷市の災害に備えた市内の配水管路の耐震化状況、老朽化した配水管路の対策方針、その実行にあたっての財源確保の取り組みについて一般質問を行ってまいりました。

また、町会と協力し水路の蓋掛け整備を行政に要望し、令和7年3月に着工予定となっています。

国交省関連分野に関しては、人や自転車、車輛からの視界が遮られ、交通事故も起こるほど背が高く伸びた国道298号線側道の除草を、当選前から継続して北首都国道事務所へ依頼しています。

新型コロナウイルス等への地域対策

■世界中をコロナ禍が席卷しはじめた2019年以降、未知のウィルスに対しての恐怖心は計り知れませんでした。そんな中、公私にわたるコネクションを駆使し、一人でも多くの地域の方が迅速にワクチンを接種できるように汗をかきました。自分が地域に必要とされていると強く感じた毎日でした。

■感染症対策としては、市内小中学校PTAや三郷中央総合病院と協力し、小学一年生の学年活動で手洗い教室を開催して、予防衛生行動の啓発にも協力させていただきました。